

進路指導について

進路指導とは、単に進路先を決定するためのものではありません。子どもたちが自立を目指し、卒業後も地域社会の一員として活動し、豊かで生き生きとした生活を送れるようにするための取り組みであると考えています。適切な進路先や生活支援が保障されるために、日常の学習活動や生活指導・作業学習・就業体験（実習）を中心とした取り組みを充実させ、卒業後のスムーズな移行のために家庭や地域、関係機関と連携し、きめ細かな引継ぎを行います。また、アフターフォロー（継続支援）にも力を入れていきます。

昨年度の進路（事業）別の比率では就労継続支援B型が3割強で最も多く、以下生活介護（創作系）、就労移行、企業就労、生活介護（通園系）、自立訓練（生活）の順に続いています。

企業就労へ向かうステップとして就労移行支援だけでなく、自立訓練や就労継続支援B型に進み、力を貯めてステップアップを目指そうとする生徒が増えてきています。

過去5年間の進路状況（高等部）

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
企業就労	3	4	4	3	6	20
職業訓練関係	2	0	0	0	0	2
就労移行支援	2	3	3	4	7	19
就労継続A・社会的事業所	0	0	0	0	2	2
就労継続B	10	8	8	15	15	56
自立訓練（機能）	1	0	1	0	0	2
自立訓練（生活）	3	6	3	1	3	16
生活介護（創作系タイプ）	10	12	18	10	9	59
生活介護（通園タイプ）	0	4	0	6	3	13
進学	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	1	3
未確定	3	0	1	0	0	4
施設入所支援	0	1	0	0	1	2
合計	35	38	38	40	47	198

平成29年度 事業形態別比率（進路先）

